

科目名	デザイン論 1							年度	2025
英語科目名	Design theory 1							学期	前期
学科・学年	デザイン科 プロダクトデザイン専攻 1 年次	必／選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	大山敏弘	教員の実務経験		有	実務経験の職種		プロダクトデザイナー		
【科目の目的】 この科目では、プロダクトデザインの基礎知識として、プロダクトとは何か、形の意味との関係性、ユニバーサルデザイン、人間工学資格のための手法などについて学びまた、スケッチやモデリングなどの基礎スキルを習得することで、プロダクトデザイナーとしての表現力や技術力を高める。									
【科目の概要】 講義と実習を組み合わせ、プロダクトデザインの基礎知識とスキルをバランスよく習得する。また、課題発表を通して、自分の考えを表現する力を養う。									
【到達目標】 A. 技術力/画材、支持体の特性を理解し、制作するための素材の工夫やアイデアの再現ができる B. 知識力/立体構造や素材についての知識の習得 C. 社会性/主体的に授業参加をして、自分の作品を言語化し人に説明するコミュニケーション力を身につける									
【授業の注意点】 学生間・教員と学生のコミュニケーションを重視する。自ら関心をもって情報を取材し発表するだけではなく、他者の発表にしっかり耳を傾けること。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は課題提出とプレゼンテーションの実施ならびに評価を受けることができない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5 優れている		レベル3 ふつう				レベル1 要努力		
到達目標 A	プロダクトデザインの現場に必要な考え方やスキルを十分に理解しており、応用できる		プロダクトデザインの現場に必要な考え方やスキルを理解しており、ある程度実践できる				プロダクトデザインの現場に必要な考え方やスキルを理解していない		
到達目標 B	プロダクトデザインの基礎知識やデザインの考え方を深く理解している		プロダクトデザインの基礎知識やデザインの考え方をある程度身につけて理解している				プロダクトデザインの基礎知識やデザインの考え方が理解できていない。		
到達目標 C	主体的に授業参加し、プロダクトについて丁寧に説明できる		プロダクトについて言語化して説明することができる				プロダクトについて言語化して説明することができない		
【教科書】 プロダクトデザインの基礎									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】 課題80% 提出された課題を総合的に評価する 平常点20% 授業態度によって評価する									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

